序　章　地域政策の視点……佐々木　茂　3

第Ⅰ部　これからの地域政策の枠組み

第1章　地域ガバナンス改革への理論的アプローチ……佐藤　公俊　15
1.1　地方分権改革とこんにちの課題　15
1.2　「政府のかたち」の見直し　17
1.3　「政策形成システム」の見直し　21
1.4　2030年へ向けての改革戦略　26

コラム　政策科学の実践としての地域政策学……斎藤　達三　28

第2章　グローバル・ガバナンスの理念と構想……増田　正　29
2.1　グローバル・ガバナンスの定義　29
2.2　ガバナンス論の射程　34
2.3　国際機関とガバナンス　35
2.4　補完性の原理　37
2.5　2030年のグローバル・ガバナンスと地域ガバナンス　39

第3章　高付加価値が創造される個性輝くまちの行政……松藤　保孝　41
3.1　2030年の社会経済状況　41
3.2　個人を尊重する2030年の自治のあり方　44
3.3　高付加価値型の経済活動による地域経済の活性化に向けて　52

コラム　食料・農業・農村の危機と新たな可能性……吉田　俊幸　54

第4章　地域主権の実現と地域政策 ……中村　匡克　55
4.1　地方財政が抱える問題　55
4.2　狭い行政区域が抱える問題　58
4.3　2030年へのシナリオ：財政的自立を原則とした地域主権の実現　61
4.4　地域主権の実現へ向けた課題　65

コラム　地域政策への提言 ……阿部　孝夫　68

第5章　地方公会計の新たな展開に向けて ……高橋美穂子　69
5.1　会計の定義と領域　69
5.2　地方自治体の活動特性　70
5.3　公会計の目的　73
5.4　地方公会計の問題点　75
5.5　2030年の地方公会計　77

第Ⅱ部　これからの地域政策の展開

第6章　総合計画における都市政策の変遷 ……津川　康雄　85
6.1　総合計画の法的根拠と策定の体制　85
6.2　高崎市の総合計画　88
6.3　高崎市の総合計画における都市政策の特徴と課題　92
6.4　今後の課題と展望：2030年に向けて　94

第7章　群馬県における公共交通の課題と提案 ……大島登志彦　97
7.1　鉄道に対する諸問題と要望事項　97
7.2　路線バスの諸問題と活性化に向けて　103
7.3　自治体主導の路線バスの問題　106
7.4　中山間地域におけるデマンドバスの現状との問題　110
7.5　2030年に向けての課題　111

第8章　付加価値創造の交通インフラ ……味水　佑毅　113
8.1　交通インフラ整備の進展　113
8.2　交通インフラ整備の効果　118
8.3　交通インフラ整備の転換期　119
8.4　2030年を見据えた交通インフラの投資戦略　122

コラム　逆都市化と地域政策 ……原田　寛明　126

第9章　グローバル化時代における地域の環境政策 ……内田　俊博　127
9.1　経済のグローバル化と環境政策　127
9.2　環境問題のグローバル化　128
9.3　環境問題の複雑化　129
9.4　新しい形態の環境政策の必要性　131
9.5　2030年における地域の環境政策　132
9.6　2030年へのシナリオと課題　137

第10章　農業・農村の将来像と地域政策 ……村山　元展　139
10.1　わが国農業・農村の現実　139
10.2　中央政府の「食料・農業・農村政策」　142
10.3　地域からの農業・農村再生の取り組み　144
10.4　農業・農村の将来像と戦略：地域からの政策づくり　148

第11章　日本の水産業と地域による再生 ……久宗　周二　151
11.1　日本の漁業の現況　151
11.2　日本の漁業経営の厳しい局面　153
11.3　水産業の再生への提言　156
11.4　水産業を持続させるための地域の取り組み　157
11.5　2030年に向けて　160

コラム　体系化と地域政策 ……大河原眞美　162

第 12 章　新しい成長と心の豊かさを先導する地域産業 ……河藤　佳彦　163
12.1　2030 年に向けた地域産業の将来像　163
12.2　産業集積の将来　165
12.3　地域コミュニティの産業　171
12.4　地域産業の新たな役割　174

コラム　**大学附属研究センターにおける地域政策研究の方向性** ……戸所　隆　176

第 13 章　人口減少時代の社会像と地域・中小企業金融 ……中野　正裕　177
13.1　金融と地域経済　177
13.2　地域密着型金融の推進とアクションプログラム　182
13.3　人口減少時代における地域社会の課題　184
13.4　2030 年の地域密着型金融に求められるもの　187

第 14 章　ソーシャル・ビジネスとは何か ……土肥　将敦　189
14.1　「ソーシャル・ビジネス」とは何か　189
14.2　ソーシャル・ビジネスの特徴　195
14.3　ソーシャル・ビジネスの課題：2030 年に向けて　200

コラム　**附属地域政策研究センターと地域政策** ……大宮　登　202

第 15 章　文化資源と観光政策 ……伊佐　良次　203
15.1　文化資源の定義と性質　203
15.2　日本における文化財制度　206
15.3　モデル化による観光資源管理の理解　207
15.4　2030 年の観光政策に向けて　211

コラム　**地域政策の教育・研究に寄せて** ……長谷川秀男　213

第16章　障害者の生活支援と福祉政策 ……熊澤　利和　215
16.1　わが国の福祉政策は「生活支援」の視点からといえるか？　215
16.2　「差別」は潜在的に再生産が行われている　218
16.3　高齢社会の成熟期における「自立観」とは　219
16.4　障害者福祉の世界の潮流は「差別禁止」「人権侵害」へ　222
16.5　2030年，周回遅れからの脱出は可能か　223
16.6　市民としてできること，それは……　225

第17章　いのちを守る地域づくり ……内藤まゆみ　227
17.1　日本における自殺　227
17.2　自殺予防に関する社会的動向　229
17.3　現在の問題点　231
17.4　2030年に向けて：自殺を防ぐ地域を目指して　232

コラム　大学院GPと地域政策 ……河辺　俊雄　238

第Ⅲ部　附属地域政策研究センターの歩み

1. 附属地域政策研究センター所長・地域政策学部長　鼎談 ……241
1.1　附属地域政策研究センターの設立について　241
1.2　附属地域政策研究センターの展開について　243
1.3　附属地域政策研究センターと地域政策学部の関わりについて　245
2. 地域政策への提言 ……248
2.1　はじめに　248
2.2　川崎市政の基本的考え方　249
2.3　具体的な施策の例　254
2.4　地域政策への提言　256
3. 高崎経済大学附属地域政策研究センターの活動 ……258
3.1　設立の経緯と目的　258
3.2　設立後10年間の活動内容　258